

平成 29 年度家庭エコ診断制度の事業成果について

1. 都道府県ごとの推定 CO₂ 排出割合(平成 29 年度)

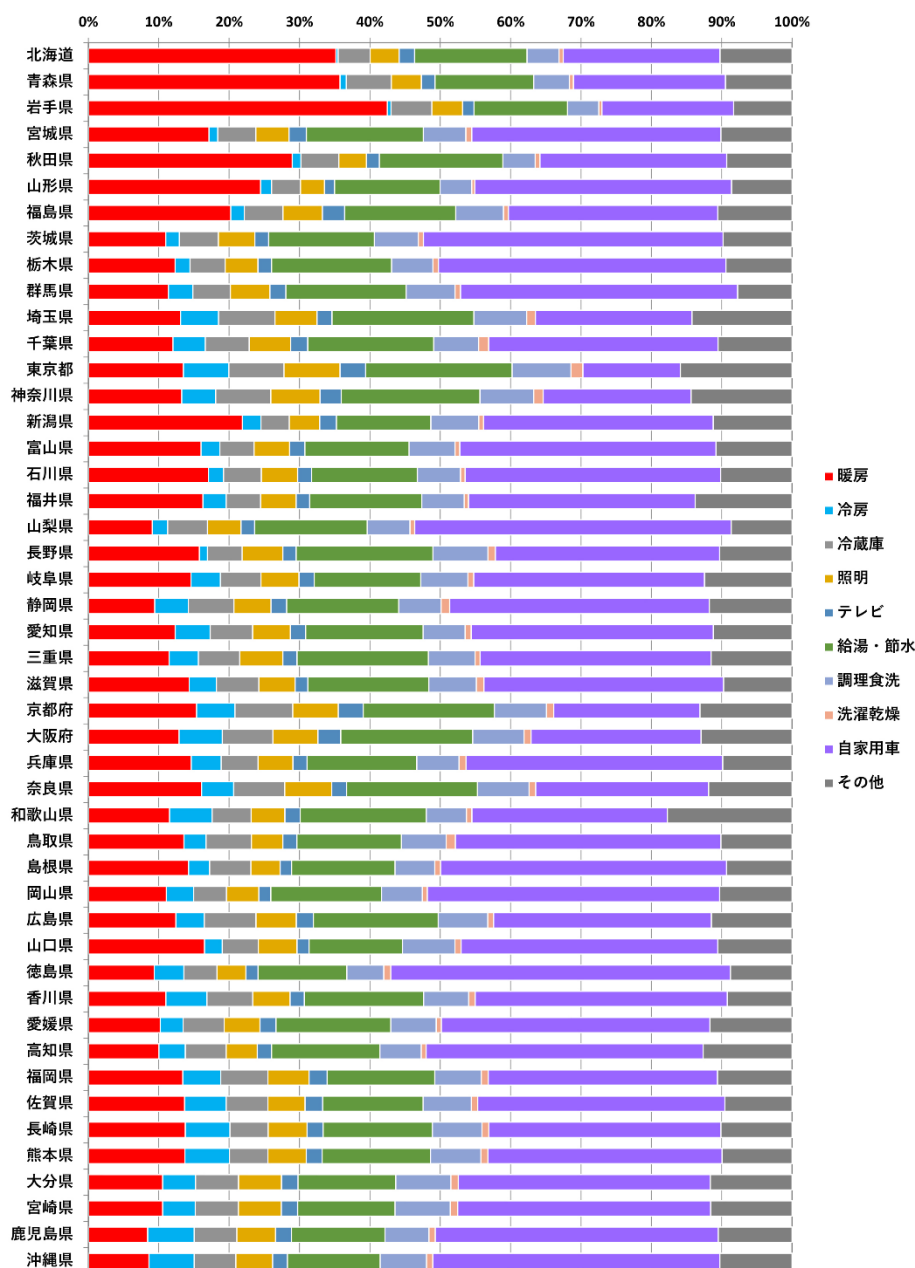


図 1 都道府県ごとの推定 CO₂ 排出割合

- ※1 うちエコ診断で得られる世帯別用途別 CO₂ 排出量のデータを都道府県別世帯人数別に推計し、都道府県別世帯人数別の CO₂ 排出原単位を作成した上で、都道府県ごとの世帯人数別世帯数(総務省国勢調査：平成 27 年度)を乗じることにより、都道府県ごとの家庭からの排出割合を推計しました。
- ※2 ただし、熊本県、宮崎県、沖縄県については、平成 29 年度事業においてうちエコ診断が実施されなかったことから、周辺の県の値を参考に都道府県別世帯人数別の CO₂ 排出原単位を作成した上で当該の世帯人数別世帯数を乗じて推計しました。

2. 気候区別の対策メニューの実施傾向（平成28年度）

表 2 気候区別の受診世帯による選択数が多かった対策メニュー

気候区分 I						気候区分 IV					
順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率	順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	給湯・節水	給湯器をエコジョーズ（潜熱回収型）に買い替える	220	40	18%	1	自家用車	エコドライブに心がける	2,398	871	36%
2	自家用車	エコドライブに心がける	217	83	38%	2	給湯・節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	1,724	365	21%
3	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	208	62	30%	3	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	1,700	477	28%
4	給湯・節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	200	44	22%	4	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	1,535	502	33%
5	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	195	70	36%	5	給湯・節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	1,367	266	19%
6	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	168	38	23%	6	給湯・節水	シャワーの時間を3割減らす	1,187	361	30%
7	冷暖房	暖房をする時間を3割短くする	147	30	20%	7	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	983	346	35%
8	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	132	19	14%	8	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	957	158	17%

気候区分 II						気候区分 V					
順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率	順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	給湯・節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	56	6	11%	1	自家用車	エコドライブに心がける	73	31	42%
2	冷暖房	暖房をする時間を3割短くする	44	10	23%	2	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	48	13	27%
3	自家用車	エコドライブに心がける	35	12	34%	3	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	42	7	17%
4	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	33	1	3%	4	給湯・節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	41	10	24%
5	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	32	6	19%	5	自家用車	タイヤの空気圧を適正に保つ	31	14	45%
6	給湯・節水	シャワーの時間を3割減らす	32	6	19%	6	冷暖房	扇風機を使いエアコンを3割減らす	31	12	39%
7	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	27	9	33%	7	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	29	15	52%
8	給湯・節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	27	5	19%	8	給湯・節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	29	11	38%

気候区分 III					
順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	225	92	41%
2	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	210	78	37%
3	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	169	50	30%
4	給湯・節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	141	27	19%
5	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	139	46	33%
6	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	99	39	39%
7	給湯・節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	94	28	30%
8	冷暖房	暖房をする時間を3割短くする	82	19	23%

気候区分に関係なく共通に選択されている対策
 寒冷地域に特徴的な対策
 温暖地域に特徴的な対策
赤字 買い替えに関する対策

※ 気候区分については、一般社団法人建築環境・省エネルギー機構が示す「住宅事業建築主の判断基準」に基づき地域を区分したものです。

3. みなし CO₂ 排出削減量、および節約金額(平成 28 年度)

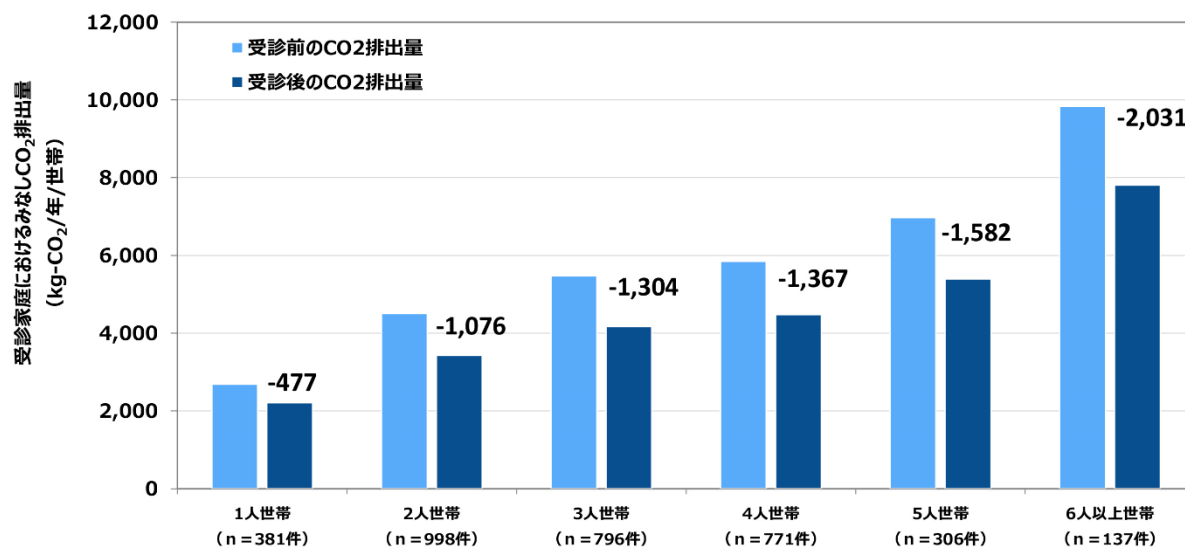


図 2 世帯人数別の診断前後の CO₂ 排出量の比較

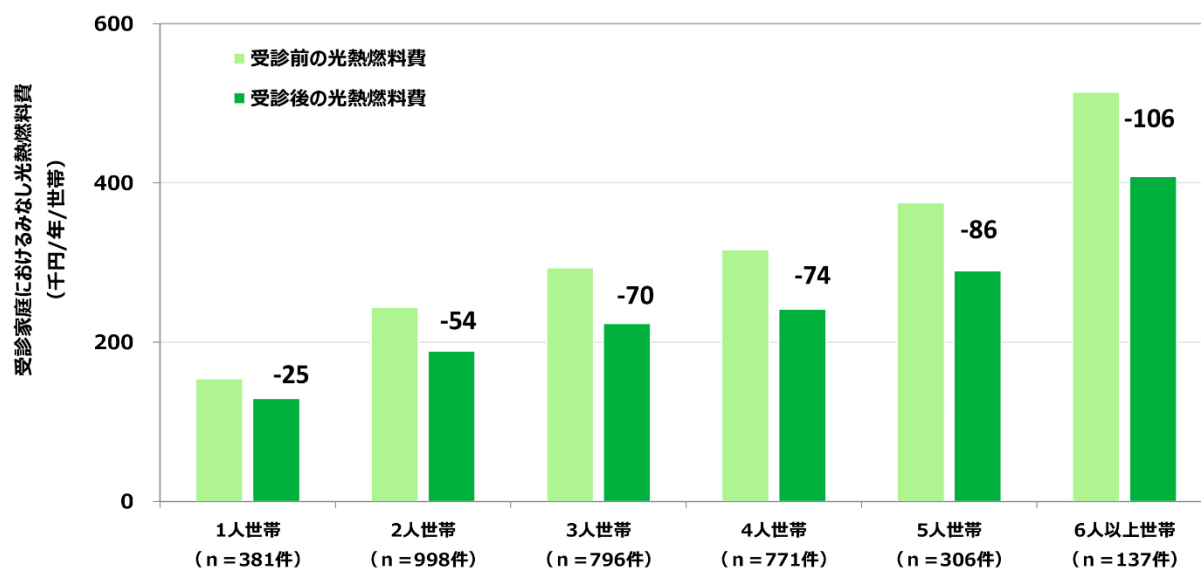


図 3 世帯人数別の診断前後のみなし光熱燃料費節約金額

- ※1 みなし CO₂ 排出削減量とは、受診前の CO₂ 排出量より受診後の CO₂ 排出量を引いたものをここでは言いません。なお、受診後の CO₂ 排出量は、受診者が診断時に選んだ対策のうち、3ヶ月後のアンケート調査で「実施した」あるいは「近く実施する予定」との回答があった対策を1年間継続実行したとみなし、その結果削減された CO₂ 排出量を示します。
- ※2 みなし光熱燃料費節約金額とは、受診者が診断時に選んだ対策のうち、3ヶ月後のアンケート調査で「実施した」あるいは「近く実施する予定」との回答があった対策を1年間継続実行したとみなし、その結果節約された光熱燃料費を示します。
- ※3 節約金額については、設備投資金額が含まれていません。